

## 第2節 精神保健福祉

### 1 精神保健福祉

地域精神保健福祉業務の中心的な機関として、行政関係、医療、社会福祉施設等の諸機関を含めた地域社会と

の緊密な連絡調整の下に、地域住民の精神的健康の保持と福祉の増進を図るため、諸活動を行っている。

#### (1) 精神障害者の概況

表1 入院届出等状況

平成23年度

区 分	入 院		計
	措 置	医療保護	
症状性を含む器質性精神障害	—	176	176
精神作用物質使用による精神および行動の障害	1	9	10
統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	4	135	139
気分（感情）障害	—	73	73
神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	—	13	13
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	—	4	4
成人のパーソナリティおよび行動の障害	—	3	3
精神遅滞〔知的障害〕	—	5	5
心理的発達の障害	—	6	6
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害 特定不能の精神障害	1	3	4
て ん か ん	—	1	1
そ の 他	—	—	—
不 明	—	—	—
合 計	6	428	434

#### (2) 精神保健福祉相談・訪問状況

表2 件数の内訳

平成23年度

区 分	電話相談	来所相談	訪問指導	合 計
実件数		147	92	
延件数	1,262	438	319	2,019

表3 来所経由別 (実件数のみ)

平成23年度

区分	本人	家族	病院	福祉事務所	保健所	精神保健福祉センター	市町	職場・学校	民生委員	その他	合計
相談	32	49	10	3	4	2	24	2	—	21	147
訪問	11	13	20	—	7	1	3	2	1	34	92

表4 年齢別件数

平成23年度

年齢		～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	合計	
相談	電話	—	50	214	462	239	111	60	80	46	1,262	1,700
	来所	—	15 (10)	59 (20)	224 (46)	76 (30)	23 (12)	16 (13)	13 (11)	12 (5)	438 (147)	
訪問		—	16 (5)	53 (14)	129 (35)	47 (11)	27 (9)	21 (11)	26 (7)	—	319 (92)	

( ) は実件数

表5 内容別件数 (複数選択)

平成23年度

区分		老人精神の問題	社会復帰等の問題	アルコールの問題	薬物の問題	思春期の問題	心の健康作り	その他	合計	
相談	電話	53	386	21	12	15	438	337	1,262	1,700
	来所	10	239	23	3	14	99	50	438	
訪問		24	79	6	22	4	106	78	319	

表6 診断別件数

平成23年度

区分	FO	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保留	不明	合計
	症状性を含む器質性精神障害	お精神よび作用物質使用による精神障害	お統合失調症、妄想性障害	気分障害	障害および身体表現性障害	神経症性障害、ストレス関連	生理的障害および身体的要因	成人のパーソナリティおよび行動障害	精神遅滞(知的障害)	心理的発達の障害	小児期および青年期の通常発				
来所相談	2 (2)	22 (5)	74 (24)	47 (27)	26 (12)	0 (0)	9 (3)	3 (2)	137 (3)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	91 (48)	24 (19)	438 (147)
訪問指導	8 (4)	28 (5)	105 (27)	66 (22)	20 (10)	1 (1)	2 (1)	11 (2)	29 (2)	6 (2)	0 (0)	0 (0)	32 (10)	11 (6)	319 (92)

( ) は実件数

(3) 精神障害者自立支援事業（障害者明るい暮らし促進事業）

保健所で毎月第1・3火曜日に開催。参加実人数は8名。主なテーマは①健康づくり（体操等）、②料理、③話し合い  
性別では男性6名、女性2名であった。プログラムは話し合いである。個別面接は適宜実施した。  
合いで決めている。

表7 生活訓練事業

平成23年度

区分	1健康づくり	2料理	3話し合い	4レクリエーション	5茶道	計
開催回数（回）	9	6	5	1	1	22
参加人数延（人）	44	25	26	3	5	103

(4) 精神障害者社会適応訓練事業

精神保健福祉法第50条に基づく事業であるが、平成23年度で見直しされ、平成24年度からは県の単独事業として継続される予定となっている。

表8 社会適応訓練事業実施状況

平成23年度

協力事業所数	実訓練者数	年間延訓練者数（A）	年間訓練延日数	年間訓練延時間数（B）	1人当たりの月平均訓練時間数（B/A）
2事業所	6名	40名	333日	1,070時間	26.75時間

(B) は1月単位で1時間未満の端数を切上げて合計している

(5) 精神障害者地域生活支援事業（退院促進事業）

平成20年度より開始された事業である。精神科病院に入院している精神障害者のうち、受け入れ条件が整えば退院可能な者に対し、円滑な地域移行に向けての支援を行い、社会復帰の促進を図ることを目的としている。平成24年度には自立支援法に基づく個別給付として市町が実施主体となる。

表9 精神障害者地域生活支援事業実施状況

平成23年度

医療機関	対象者数	退院者数	検討会実施回数	退院後の住まい	退院後の活動の場	利用している社会資源
栗津神経サナトリウム	1名	1名	2回	ケアホーム	就労訓練	市町 その他
小松市民病院	1名	1名	2回	グループホーム	就労訓練	市町
加賀こころの病院	1名	1名	3回	ケアホーム	その他 (精神科デイケア)	市町

## (6) 研修会・検討会等

表10 研修会・連絡会開催状況

平成23年度

開催日	場 所	内 容	参 加 者
9月27日	当 所	第1回 自殺防止対策地域連絡会 及び自殺防止対策研修会	66人(医療機関、警察署、教育関係、社協、 福祉関係、各種団体、民生委員、ボランティア、 国関係機関、消防、市町関係課、当所)
10月11日	当 所	第2回 自殺防止対策地域連絡会 及び自殺防止対策研修会	74人(医療機関、警察署、教育関係、社協、 福祉関係、各種団体、民生委員、ボランティア、 国関係機関、消防、市町関係課、当所)
1月20日	当 所	平成23年度 思春期こころの健康づく り連絡会及び研修会	61人(医療機関、教育関係、ボランティア、 福祉サービス事業所、国関係機関、市町関係課、 当所)

表11 関係団体への協力・支援状況

平成23年度

関 係 団 体	内 容	回数 (回)	参加者 延人数
高齢者介護家族の会	ピアカウンセリングの学習及び交流会	3	22人
メンタルヘルスボランティア	総会、役員会、例会、講座	12	299人
精神保健福祉担当者サロン会	各市町精神保健担当者との情報共有	4	26人
精神障害者家族会	総会、研修会、例会	3	3人
A A 及び断酒会	活動支援及び普及啓発に協力	16	21人
管 内 警 察 署	通報時連携及びケース連絡等	21	73人
管 内 各 市 町	みんながゲートキーパー出前講座	11	616人

表12-1 事例検討会開催・参加状況 (母親のメンタルヘルス)

平成23年度

主催	場 所	内 容	回数 (回)	参加者 延人数
当 所	小松市 すこやかセンター	事例検討会 「うつ傾向の妊産婦の継続的支援について」	12	106人
当 所	能美市 サンテてらい	事例検討会 「うつ傾向の妊産婦の継続的支援について」	12	113人
当 所	川北町 保健センター	事例検討会 「うつ傾向の妊産婦の継続的支援について」	10	28人
金沢保護観察所	県内医療機関	医療観察法関係ケア会議	12	104人
加賀地域センター	加賀市 保健センター	事例検討会 「うつ傾向の妊産婦の継続的支援について」	12	176人
加賀地域センター	加賀地域センター	事例検討会 「気分障害のある妊婦への支援について」	1	6人
福井県立病院	福井県立病院	退院時ケア会議 「精神症状が改善した産婦への母子支援について」	2	16人

表12-2 事例検討会開催・参加状況

平成23年度

開催日	主催・場所	内 容	参 加 者
4月7日	佐美町会館	「病識のない統合失調症患者の受診支援について」	12人 (民生委員・班長、親族、市長寿支援センター、小松市職員、当所関係職員)
4月26日	精神科病院 精神科病院 会議室	「措置入院者の退院後の生活支援について」	8人 (病院職員、加賀市職員、当所関係職員)
6月1日	能美市健康福祉部福祉課 健康福祉センター	「家庭内暴力のある娘とその家族への支援について」	8人 (能美市職員、当所関係職員)
6月7日	当 所 (地域支援課主催)	「日常生活に支援が必要な児童および両親への今後の対応について」	15人 (医師・病院職員、小学校校長・担任・コーディネーター、当所関係職員)
6月10日	精神科病院	「医療保護入院者の退院後の対応について」	8人 (医師・病院職員、当所関係職員)
6月28日	総合病院 総合病院 カンファレンスルーム	「投薬管理の必要な入院患者への退院後の対応について」	11人 (本人、家族、小松市職員、医師・病院職員、当所関係職員)
6月30日	こまつ障害者就労・生活支援センター 当 所	「本人の近況と関係機関の役割と支援目標について」	8人 (本人、小松市職員、相談支援事業所職員、ヘルパー、病院職員、地域活動支援センター職員、当所関係職員)
7月4日	当 所	「虞犯の恐れがある軽度知的障害者への対応について」	11人 (医師・病院職員、金沢保護観察所職員、小松警察署職員、小松市職員、当所関係職員)
7月26日	精神科病院 小松市ふれあい福祉課	「周囲とのトラブルを頻発する人格障害・うつ病患者への対応について」	6人 (医師・病院職員、小松市職員、当所関係職員)
8月9日	精神科病院 精神科病院 会議室	「虞犯の恐れがある軽度知的障害者への対応について」	15人 (医師・病院職員、金沢保護観察所職員、小松警察署職員、小松市教育委員会職員、小松市職員、当所関係職員)
8月26日	こまつ障害者就労・生活支援センター 会議室	「本人の近況と関係機関の役割と支援目標について」	9人 (本人、家族、小松市職員、相談支援事業所職員、福祉サービス事業所職員、病院職員、地域活動支援センター職員、当所関係職員)
9月30日	こまつ障害者就労・生活支援センター 会議室	「本人の近況と関係機関の役割と支援目標について」	8人 (本人、家族、小松市職員、相談支援事業所職員、福祉サービス事業所職員、病院職員、地域活動支援センター職員、当所関係職員)

10月25日	こまつ障害者就労・生活支援センター 会議室	「本人の近況と関係機関の役割と支援目標について」	8人 (本人、家族、小松市職員、相談支援事業所職員、福祉サービス事業所職員、病院職員、地域活動支援センター職員、当所関係職員)
11月25日	こまつ障害者就労・生活支援センター 会議室	「本人の近況と関係機関の役割と支援目標について」	9人 (本人、家族、小松市職員、相談支援事業所職員、福祉サービス事業所職員、病院職員、地域活動支援センター職員、当所関係職員)
12月1日	当 所	「統合失調症の産婦への対応について」	6人 (病院職員、当所関係職員)
12月19日	こまつ障害者就労・生活支援センター 会議室	「本人の近況と関係機関の役割と支援目標について」	7人 (本人、家族、小松市職員、相談支援事業所職員、福祉サービス事業所職員、地域活動支援センター職員、当所関係職員)
12月21日	精神科病院 精神科病院 会議室	「アスペルガー障害の入院患者の退院後の対応について」	5人 (医師・病院職員、小松市職員、当所関係職員)
12月27日	能美市健康推進課 能美市辰口庁舎 2F 会議室	「母親を虐待する精神障害をもつ娘への対応について」	13人 (能美市職員、病院職員、当所関係職員)
1月27日	こまつ障害者就労・生活支援センター 会議室	「本人の近況と関係機関の役割と支援目標について」	7人 (本人、家族、小松市職員、相談支援事業所職員、福祉サービス事業所職員、地域活動支援センター職員、当所関係職員)
2月13日	能美市高齢者支援センター 能美市健康福祉センター	「DV と高齢者支援の両方の側面を持つ事例の対応について」	8人 (弁護士、社会福祉士、能美市職員、当所関係職員)
2月13日	能美市高齢者支援センター 能美市健康福祉センター	「家族による経済的虐待事例の対応について」	8人 (弁護士、社会福祉士、能美市職員、当所関係職員)
2月17日	こまつ障害者就労・生活支援センター 会議室	「本人の近況と関係機関の役割と支援目標について」	7人 (本人、家族、小松市職員、相談支援事業所職員、福祉サービス事業所職員、地域活動支援センター職員、当所関係職員)
3月16日	当 所 (地域支援課主催)	「日常生活に支援が必要な児童および両親への今後の対応について」	9人 (医師・病院職員、当所関係職員)

表1 2-3 事例検討会開催・参加状況 (加賀地域センター)

平成23年度

開催日	主催・場所	内 容	参 加 者
4月26日	精神科病院	「措置入院患者の在宅支援について」	9名 (ワーカー、訪問看護師、看護部長、児童相談所、南加賀保健所職員、地域センター職員)
6月8日	加賀地域センター ・交番	「地域住民からの苦情対応と受診支援について」	6名 (警察官、市福祉事務所、地域センター職員)
7月27日	包括支援センター ・地区公民館	「地域住民からの苦情対応と受診支援について」	10名 (民生委員、区長、近隣者、警察官、包括支援センター、地域センター職員)
8月25日	加賀地域センター	「うつ傾向の妊婦の継続的支援について」	6名 (医師、助産師、病院看護師、市保健師、地域センター職員)
9月6日	加賀地域センター ・精神科病院	「自殺願望の強い者への在宅支援」	5名 (医師、ワーカー、看護師、福祉事務所)
9月14日	加賀地域センター ・精神科病院	「措置入院患者の在宅支援について」	6名 (医師、ワーカー、児童相談所、地域センター職員)
9月27日	児童相談所 ・加賀市市民会館	「措置入院患者の在宅支援について」	14名 (市相談員・保健師ほか職員、児童相談所、地域センター職員)
11月9日	精神科病院	「高齢者と2人暮らしの治療中断しやすい者の退院支援について」	5名 (ワーカー、病棟看護師、相談支援事業所、地域センター職員)
12月26日	加賀地域センター ・市役所	「高齢者虐待者の在宅支援について」	7名 (ワーカー、児童相談所、市保健師、包括支援センター、地域センター職員)
1月19日	包括支援センター ・加賀市市民会館	「高齢者虐待者の受診支援について」	10名 (市相談員・保健師ほか職員、包括支援センター、介護支援事業所、地域センター職員)
1月26日	福井県立病院 こころの医療センター	「精神症状が改善した産婦の在宅支援」	7名 (医師、父母、看護部長、ワーカー、市保健師、地域センター職員)
1月30日	加賀地域センター ・精神科病院	「高齢者虐待者の受診支援について」	9名 (ワーカー、病棟看護師、相談支援事業所、市保健師、包括支援センター、介護支援事業所、地域センター職員)
2月17日	包括支援センター ・精神科病院	「高齢治療中断者の在宅支援」	4名 (ワーカー、包括支援センター、地域センター職員)